

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	衛生検査所検査料金調査費			担当部局庁	保険局			作成責任者	
事業開始年度	昭和56年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医療課			宮崎 雅則	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	衛生検査所が実施する臨床検査料等について、実態を調査し、診療報酬点数の評価を行い、もって診療報酬の適正化を図るための基礎資料を得ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律」に基づき登録している全国の全ての衛生検査所を対象とし、保険診療に関する検査の有無、取り扱い検対数などについて、調査票によるアンケート調査を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	2	2	2	2	0		
	執行額	2	0	2					
	執行率(%)		100%	0%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度
	医療機関等における検査等の実施状況をより正確に把握する。	臨床検査料に係る調査票の回収率	成果実績	%	66.9	-	66.9	-	-
			目標値	%	100	-	100	-	100
			達成度	%	66.9	-	66.8	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	調査票配布件数(=法に基づき登録されている全ての衛生検査所数) (アンケート調査を実施し、衛生検査所ごとの臨床検査料のデータを得た上で、診療報酬の適正化を実施するための基礎資料を得るための事業であり、定量的な評価は困難であるため、間接的な定量的指標を設定する。)	活動実績	件	890	-	895	-		
		当初見込み	件	900	-	900	900		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	$\frac{X}{Y}$ X:「調査票の印刷・発送費」 Y:「調査票の配布数」	単位当たりコスト	円	840	-	793	978		
		計算式	X/Y		75万円/890件	-	71万円/895件	88万円/900件	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	$\frac{X}{Y}$ X:「回収した調査票のデータ入力・集計費」 Y:「回収した調査票の数」	単位当たりコスト	円	1,140	-	1,773	1,233		
		計算式	X/Y		68万円/595件	-	106万円/598件	111万円/900件	

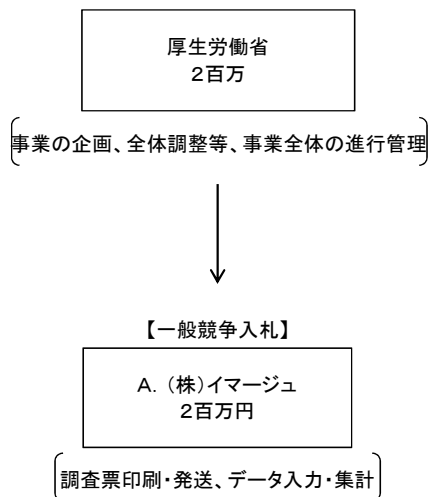
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	医療給付適正化業務庁費	2		
	計	2	0	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標9 国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること							
	施策	施策目標 I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	-
	目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	「臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律」に基づき登録している全国の全ての衛生検査所を対象とし、保険診療に関する検査の有無、取扱い検体数などについて、調査票によるアンケート調査を実施する。衛生検査所が実施する臨床検査料について、実態を調査し、診療報酬点数の評価を行い、もって診療報酬の適正化を図るための基礎資料を得ることができる。								
	改革項目	分野:	-	-					
	KPI (第一階層)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-
目標値		-	-	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-	-	
KPI (第二階層)	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	達成度	%	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善		
項目	評価	評価に関する説明
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	臨床検査料を調査し、診療報酬改定の検討に必要なデータを得ることを目的としているため、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	適切な検査料を設定することは、医療費の適正化につながるものであり、国が実施すべき事業である。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	適切な検査料を設定するためのデータを得ることは、医療費の適正化という政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札による選定であり、競争性は確保されている。
一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	妥当な水準であり、コスト削減に努めている。
資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	全ての費目が調査を実施し、その結果を得るための経費として使用されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	真に必要な事項のみ調査項目とすることで、入力、集計業務の省力化を図っている。

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	診療報酬改定において必要とされる十分なデータを得るための回答を得られている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	診療報酬改定において必要とされる十分なデータを得られている。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	得られた成果物(データ)をもって、平成28年度の診療報酬改定を実施しており、十分に活用されている。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	平成27年度の執行については、一般競争入札の結果によるものであり、特段の問題はないと判断。本調査により得た臨床検査料のデータを基礎資料とし、診療報酬の適正化を図るための診療報酬改定を行った。				
	改善の方向性	引き続き競争性のある契約を実施するとともに、調査票未提出の衛生検査所については、フォローアップ等により調査票の回収率向上に努める。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	275	平成23年度	246	平成24年度	212	
平成25年度	245	平成26年度	257	平成27年度	267	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

